

令和4年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	111	学校名	仙台市立住吉台小学校	校長名	鎌田 悟朗
------	-----	-----	------------	-----	-------

1 身近な自然や自然を守っている方との関わりを通しての活動 ～コロナ禍での3年目～



2 取組の紹介

今年度は、コロナウイルスの感染拡大防止の中で取り組んだ、オオムラサキクラブの活動と環境活動への取組の一端を紹介いたします。

(1) オオムラサキクラブの活動

夏のオオムラサキハウス



夏の盛りには、30匹ほどのオオムラサキがハウス内を飛び交いました。クラブの子供たちや、総合的な学習の時間で3年生が、その様子を観察しました。

オオムラサキのオス



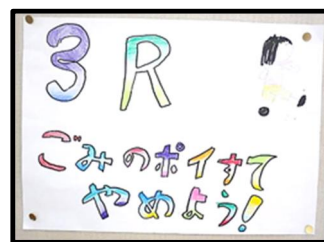
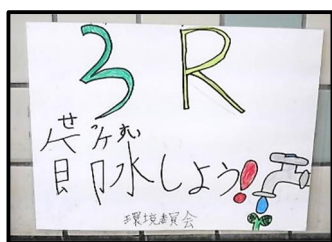
オオムラサキの名前は、羽の表側の美しいむらさき色に由来しています。この美しいむらさき色は、オスだけに見られる特徴です。

冬のオオムラサキハウス



幼虫は、雪に埋もれた木の葉の下で越冬中です。その木の葉が飛び散ってしまわないよう、木の根元をネットで保護しています。

(2) 環境よびかけポスターの掲示



3 取組と成果

住吉台の町内には、国蝶オオムラサキを飼育し、放虫を続ける活動をしている『オオムラサキの舞うふる里を育てる会』（通称：オオムラサキ会）があります。この会は、発足から30年目を迎えています。そして、本校の児童が活動するオオムラサキクラブ（2～6年の希望者で構成）は、同じ30年間、常にオオムラサキ会の方々からアドバイスやサポートをいただき活動を続けてきました。今年度も、コロナウイルスの感染予防のために、活動の内容や回数を抑えざるを得ませんでした。しかし、オオムラサキの生態やオオムラサキ会の方々の努力を知った児童に、命を大切にすること、人間や様々な生き物の生活環境を守っていかうとする気持ちを育み続けています。2月現在、校内のオオムラサキハウス内では、昨秋1～2cmに育った幼虫が落ち葉の下で越冬中です。

5・6年生の環境委員が中心になってゴミの分別や環境美化、節電、節水などを呼び掛けるポスターを作成し、掲示しました。ポスターや呼び掛けをとおして、普段から環境を大切にしようという意識が高まってきました。

令和4年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	112	学校名	仙台市立館小学校	校長名	遠藤 浩志
------	-----	-----	----------	-----	-------

1 取組のタイトル、テーマ 「自然や環境と向き合う機会」



2 取組の紹介

(1) 自然との触れ合いをとおして学ぶ

○ 緑化活動

今年度も環境委員会を中心に昇降口の花壇に花を植え、育てる活動を行いました。夏にはブルーサルビアやベコニアなど、秋には葉ボタンやチューリップなど、季節に応じた花を植えました。多くの児童が花壇を見て、季節の変化を感じている様子が見られました。

また、今年度も3年生によるボーダーガーデンに花を植える活動を継続して行いました。自分たちで花を植えることで、植物を大切にしようという気持ちが児童の中で養われました。



○ グリーンパークの整備

学校の西側には、畑や水田、ビオトープなどがある「グリーンパーク」があります。とても自然豊かな場所で、生活科や総合的な学習の時間、理科の授業と関連させて、子供たちは、様々な作物を育てたり、観察したりしています。

5年生は、今年も、総合的な学習の時間に水田で「ひとめぼれ」を栽培しました。田植えから稲刈りまでの作業をとおして、社会科で学習した米作りの苦労や収穫の喜びを実際に体験することができました。また、水田や稲の生育の管理は、地域の農家の方にお手伝いいただきました。苗の植え方や稲の干し方などを直接教えていただく貴重な機会となりました。

4年生はサツマイモを植えて、実際に収穫することで植物を育てる喜びを体感していました。



(2) 実際の体験を通して学ぶ

○ 環境学習「川に学ぼう」

4年生は今年度「令和4年度杜々かんきょうレスキュー事業隊 環境学習プログラム『川で遊ぼう・川に学ぼう』」に参加しました。実際に、本物の川の生き物に触れたり、観察したりすることでより自然環境や生き物への関心を高めることができました。



3 取組の成果

豊かな自然のある地域性を生かした取組を継続して行うことで、子供たちの中に自然を大切にする心情や、環境問題への関心を高めていくことができたと感じています。来年度も引き続き、子供たちが身近な自然や環境と向き合う機会を継続して設けていきたいと思えます。



令和4年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	114	学校名	仙台市立長町南小学校	校長名	大河内 裕幸
------	-----	-----	------------	-----	--------

1 取組のテーマ、タイトル

テーマ「食品ロスを減らそう～給食残食から考える取組」

2 取組の紹介

(1) はじめに



本校は、おいしい給食が自慢です。栄養面だけでなく、旬の食材を生かした料理をはじめ、日本の行事食や様々な地域の郷土料理、世界の国々の家庭料理など、味覚や食への興味を広げる工夫を凝らした献立で、豊かな食文化を楽しめる児童を育てたいと願い、食育指導に努めています。毎日の給食を楽しみにしている児童や職員が大勢います。しかし、残念ながら残食が少なくないことがしばしば話題に上がりました。「食品ロス」が今日的な問題としても取り上げられていることも含め、学校全体として「残食」「食品ロス」への取組を行っています。

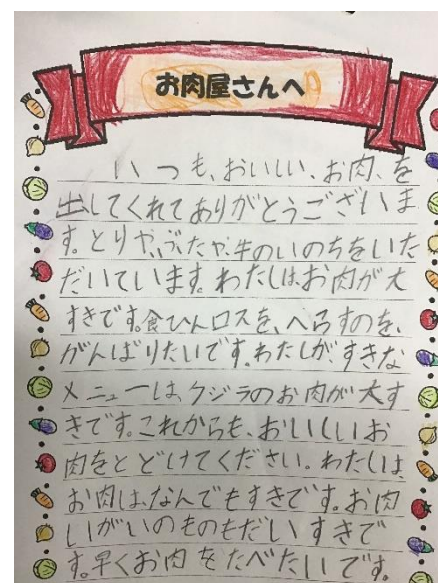
(2) 取組の紹介

- ・まだ食べられるのに廃棄される食品「食品ロス」について、意味や状況について学年に応じた学習を行い、本校での給食残食の実態や問題を児童と共有しました。
- ・教室での「給食室からのおたより」を紹介する指導をとおり、栄養士からの献立の説明を伝え、栄養面や食材への興味を喚起し続けています。偏食のある児童へは「一口食べてみよう」の声掛けを続け、「食べること」の大切さについて、栄養、感謝、環境などの多方面からのアプローチを行っています。
- ・7月に実施した学校保健委員会では、保護者を交え、給食残食の実態を話題にしました。和食の残食が多くなることにも関心を持っていただき、各家庭で取り組めることについて前向きな意見交換がありました。
- ・残飯をできるだけ肥料として活用する取組も行っています。

3 取組の成果

- ・給食委員会児童から全校児童へ、「残食を減らそう」「感謝して残さず食べよう」という活動が起きました。食べ物を生産する方々、給食に関わる方々への感謝の気持ちを大切にしたい取組になり、全校児童へ広がりました。
- ・SDGsの視点や、自分の健康、感謝の気持ちなどを学ぶ中で、少しずつ食べ物を大切にして給食を残さずに食べようとする児童が増えてきました。これからも、家庭との連携を更に強めながら、SDGsへの学びを進め、「食品ロス」についてできることを継続していきたいと思えます。

(2年児童の手紙→)



令和4年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	115	学校名	仙台市立西山小学校	校長名	玉水 修
------	-----	-----	-----------	-----	------

- 1 取組のタイトル, テーマ
「木とともに生きる」(5年生 総合的な学習の時間)



2 取組の紹介

① 宮城県森林インストラクターを招いての授業

宮城県森林インストラクター協会の方々を講師としてお招きし、特別授業「ふれあい森林教室」を実施しました。学校で行った事前学習では、校地内を散策し、植物の名前や特徴・植物を使った遊びなどを教えていただきました。校外学習では、「ESD 学びの森」の中で遊歩道整備や薪割り、木・竹を切るなどの体験活動を行いました。また、ロープを使って木登りをしたり、木の枝で作られたブランコに乗ったりして、楽しく自然と触れ合うことができました。



ネイチャークラフトの活動では、植物を使ってネームプレートや鉛筆、パチンコなどのクラフト作りに挑戦しました。

② 環境についての調べ学習

環境問題についての調べ学習を行い、森林を始めとして、地球上の様々な場所で起きている環境問題について学習しました。2学期後半は「持続可能な社会とは～SDGs って何?～」をテーマに、「西山小でできる SDGs は何か」や「より良い環境作りのために自分たちにできることは何か」について考える学習に取り組んでいます。

3 取組の成果 (児童生徒の変容)

「ふれあい森林教室」の活動では、普段学校ではあまり使う機会のないのこぎりで木や竹を切る活動や自然の中での遊びを行い、自然と触れ合う楽しさを実感することができました。また、森林インストラクターの方々の話を聞き、多様な木や植物があることのすばらしさを感じていました。活動後、児童は「木の大切さを改めて感じた」「今回の活動を通して、ゲームよりも外での遊びがもっと好きになった」などの感想を持ちました。

森林や環境に関する学習をとおして、児童は環境への関心を高め、「自然は私たちにとって欠かせないものということを学んだ」「これからも自然を大事にして、自然と共存していきたい」と積極的に考えていました。

令和4年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	116	学校名	仙台市立南吉成小学校	校長名	千葉 元春
------	-----	-----	------------	-----	-------

1 南吉エコ活動（エコフェスティバル・全校奉仕の日・環境美化委員会の取組）



2 取組の紹介

① エコフェスティバル（児童会行事）

児童会行事のエコフェスティバルが、7月15日（金）に行われました。3年生以上の各学級が、2～3グループに分かれて、遊びのお店を開き、全校で楽しむ本校の伝統的なお祭りです。これまで「できるだけごみを出さないこと」「リサイクルできる道具や材料を使うこと」を合言葉にして取り組んできたので、児童の意識も年々高まってきました。身近なごみの分別ゲームの店や、アルミ缶やペットボトルなどリサイクルできる材料を使ったお店、学校にある跳び箱や平均台などを使って楽しむ店など、各クラス様々なアイデアを出し、生き生きと活動していました。



② 全校奉仕の日の取組（落ち葉集め・除草作業）

11月初旬に「全校奉仕の日」の活動として、教職員と全児童が校地内の落ち葉集めや除草作業、ごみ集めをしました。学年ごとに学年花壇やその周辺、全校花壇、校庭回り、学校門周辺などを分担して活動しました。どの学年も、落ち葉や草、ごみなどを大量に集めていました。



③ 環境美化委員会の取組

環境美化委員会の児童が、学校の環境をよくするためにできることを話し合い、学校花壇の世話とともに、節電や節水を呼び掛けようと決めました。節電や節水の意識を高めるために、各学年の手洗い場にポスターを掲示しました。下学年でも分かりやすいよう文字や表現を工夫して作成しました。



3 取組の成果

エコフェスティバルの活動で、低学年の感想を聞くと「いつもはすぐ捨ててしまう物や身近な物を使ってもこんなに楽しく遊べるんだ」と店を出す側の意図がきちんと伝わっていることが分かります。遊びをとおしてエコの伝統が上学年から下学年へしっかりと伝わっています。子供たちの遊び道具への意識にも変容が見られました。

全校奉仕の日の取組では、たくさん集まった落ち葉や草、ごみを見て、充実感を得るとともに、「普段からきれいな学校にしていきたい」という感想が聞かれました。活動後は、校舎の内外で気が付いたときにさっときれいにする姿が見られました。

環境美化委員会の活動では、ポスターを見た児童が、お互いに声を掛け合う様子が見られました。誰もいない教室の電気を消すことやこまめに水道を止めるなど、節電・節水の意識が全校で高まってきました。

令和4年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	117	学校名	仙台市立高森東小学校	校長名	武田 千明
------	-----	-----	------------	-----	-------

- 1 取組のタイトル, テーマ
「高森東のエコ活動」



- 2 取組の紹介

次の活動を, 児童・職員・PTA会員を含め, 学校全体の取組として日常的に行っています。

- ① ゴミの分別

燃やせるゴミとプラスチックゴミの分別を, 日常的に行っています。

- ② リサイクル活動

ペットボトル・ビン・カン・段ボール・他の紙類を分別し, リサイクルしています。

- ③ エコ活動

太陽光発電システムの利用や, 節電・節水やゴミ減量活動を奨励し, 学習や学校生活全体の場でエコを実践する機会をつくっています。

- ④ 緑化活動の推進

1学年では, 毎年朝顔の種を植えて緑のカーテンを作っています。



- ⑤ 「クリーンアップ高森東」

全校一斉であったり, 各家庭からボランティアを募って参加していただいたりして, 除草剤等を使わない校庭の草取り活動に年に数回取り組んでいます。

- ⑥ グリーンクロスジャパン「みどりの小道」環境日記コンテストへの応募 (有志児童)

今年度は, 個人の部で金賞1名, 銅賞1名, 佳作3名が選出されました。

- ⑦ 授業例 第4学年 住みよいくらしをつくる「ごみのしよりと利用」

- 3 取組の成果 (児童生徒の変容)

本校では3年生から6年生の有志児童が取り組んだ「みどりの小道」環境日記コンテストでしたが, 特に4年生では, 社会科小单元「ごみのしよりと利用」での学習や, 市のごみ処理場での校外学習を経て, 夏休みには自ら環境日記に取り組むなど, 環境問題に関心を抱き, 進んで活動に取り組む児童の姿が見られました。

「クリーンアップ高森東 (校庭の除草ボランティア)」では, 多くの児童生徒やその保護者の方々が進んで除草剤等を使わない草取り活動に取り組んでいます。

令和4年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	119	学校名	仙台市立栗生小学校	校長名	松田 修一
------	-----	-----	-----------	-----	-------

- 1 取組のタイトル, テーマ
「みんなで協力して緑いっぱいの栗生小にしよう！」



2 取組の紹介

本校の緑化ボランティア委員会では、1年間の委員会のめあてとして「みんなで協力して緑いっぱいの栗生小にしよう！」を掲げ、学校に通う皆が花に触れ合えるように、日々、活動を行ってきました。春から秋にかけては、校舎の周囲にある花壇を耕し、花を植え、育った花を使ってのミニ生け花や、小さな鉢植えを校舎内に飾る活動を行いました。冬である現在は室内で、球根や花の種を植え、育てる活動を行っています。



<鉢植えでの花の展示>



<球根の栽培>



<校花である菜の花の栽培>

3 取組の成果 (児童生徒の変容)

今年の活動を振り返って児童が書いた感想には、畑の土と触れ合う楽しさや、水やりを行い花を育てる楽しさ、花を校舎に飾る楽しさなどが書かれており、緑化活動の楽しさに気付いたことが伝わってきました。今後、中学校でも緑化委員会に入って植物を育てたいと書いていた児童もいました。

校舎内に飾られる季節によって変わる花を楽しみにしている児童の姿が多く見られました。また委員会の活動の様子を見て、来年は緑化ボランティア委員会に入りたいと話す4年生の児童もいました。そのような児童たちの言葉から、学校内に花を愛でようとする気持ちの高まりを感じることができました。来年度も緑を増やす活動を継続し、草花をとおして子供たちの心を豊かにできるようにしていきたいと考えています。

令和4年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	120	学校名	仙台市立北中山小学校	校長名	高橋 正行
------	-----	-----	------------	-----	-------

1 取組のタイトル, テーマ

校内の環境をきれいに整えよう



2 取組の紹介

緑化活動・環境を守る活動

(1) 夏植えの計画

今年度は、1～3年生児童一人一人が植木鉢を1つずつ管理して、アサガオ（1年）、野菜（2年）、大豆（3年）を育てているため、4～6年生が校地内の花壇の緑化に取り組みました。まず、4、6年生が、昨年の秋から春までの草花の撤去と土作りを行いました。土作りは、昨年度植えた苗を抜き、腐葉土と既存の土を移植べらで混ぜました。安全に留意しながら、密にならないよう、学級ごとに時間を分けて取り組みました。その後、5年生が、苗の植え付けを行いました。サルビア・マリーゴールド・ペコニア・アゲラタムなどの花の苗を、学級ごとに分担して植えました。様々な花壇があるので、色や種類のバランス等を考えなくてははいけません。苗と同じくらいの深さの穴を掘り、水を入れてから苗を入れ、土をしっかり被せること等の注意を聞いた後、手際よく植えられました。

(2) 秋植えの計画

夏植えと逆で、今度は、5年生が苗を抜いて、腐葉土と既存の土を混ぜました。花壇をきれいに片付けて、4・6年生が苗を植えやすいようにしました。その後、4・6年生の児童が、花の苗の植え付けを行いました。パンジー・チューリップ・葉ボタン等、春が楽しみなものばかりです。担任の先生に印を付けてもらい、注意点をよく聞いてから、苗を植えました。



(3) 委員会活動

学年が分担する以外の花壇については、環境委員会が世話をしています。職員玄関前の長い花壇に、環境委員で苗植えをしたり、当番を決めて水やりをしたりしています。苗の植え替えも、環境委員会で行いました。また、環境委員会では、空の段ボール箱を材料に、古紙回収ボックスを製作し、各学級に設置しました。委員会活動時に、環境委員が、各学級のたまった古紙回収ボックスをピックアップして集まり、それを全体で、種類やサイズごとに分別しています。この活動は、SDGsにもエコロジーにも役立っています。

ボランティア委員会主催の「ひまわりのぬり絵コンクール」(1～3年生対象)や「ひまわりの俳句募集」(4～6年生対象)も行われ、それぞれ優秀作品の発表と応募作品の展示をしました。

(4) 職員室での取組

職員室では、全てのごみ箱に小さいビニール袋が取り付けられています。プラスチックごみと普通ごみが混ざらないように、プラごみはビニール袋の中へ、普通ごみはごみ箱の中へ全職員が意識してごみの分別をしています。各教室で行っていることを、職員室でも実践し、日々の小さなことから当たり前に活動できるよう、全校で取り組んでいます(その他に、空き缶入れ・ペットボトル入れ・廃棄乾電池入れ・段ボール入れ等も、もちろんあります。)

3 取組の成果 (児童生徒の変容)

1、2年生は、生活科の学習で植えたアサガオや野菜を自分の植木鉢で育て、3年生は、総合的な学習の時間で大豆の種から、自分の鉢で育てることによって愛着がわき、「僕の大豆」「私のアサガオ」という意識を持つことができました。併せて、自分の植木鉢が学校をきれいにしていることにも気付きました。学校の花壇は、上級生の環境委員会のお兄さん・お姉さんがいつも世話をしていることにも触れ、全校児童が、校内の環境をきれいに整えようという気持ちを持つことができました。